



令和4年度（2022年度）読書教育重点校 活動報告

熊本県立熊本はばたき高等支援学校

熊本県立熊本はばたき高等支援学校は、知的障がいのある高等部生徒が学ぶ特別支援学校として設置され、開校4年目を迎えました。校名の「はばたき」には、本校で学ぶ生徒たちが、将来の希望に向かって力強く「はばたく」ことへの期待が込められています。本年度は、25学級、192人の生徒が在籍しています。

本校は、開校4年目で蔵書の整備を進めており、今回の読書教育重点校としていただいた図書寄贈の助成を図書館図書の充実に活用させていただきました。図書館での活動は、読書活動をはじめ、調べ学習や情報等の学習など、生徒の読書習慣の形成や豊かな情操を育む上で重要な役割を果たしています。

●図書室の壁面掲示について

最初に、担当する生徒と一緒に、どのようなテーマや内容を掲示物として制作するか話し合いを行います。テーマや内容については、完成に必要な期間を考えて、完成の時期に合わせたものになるようにして決定しています。インターネットの情報だけでなく、蔵書された本の中からその内容に関連するものを探して、情報を整理してポスター制作をしています。そして、関連する本をポスターの近くに展示しています。



図書室掲示物（関連した本を展示）

●貸し出し作業について

図書室の管理を担当する生徒が、作業班の授業の時間や放課後の設定された時間に、本の貸し出し作業を行っています。受付カウンターでは、あいさつや名前の確認、返却日を伝えるなど借りる生徒とのやりとりもあり、相手に伝わる声の大きさと話すことなどを意識しながら仕事に取り組んでいます。



本の貸し出しの様子

●国語の授業

国語の授業では、おすすめの本を選び、その本の紹介をするためのポップ作りの活動を行いました。本の内容に合わせて、色画用紙やペンの色、文字に形や飾りを考えて生徒それぞれのオリジナルのものができあがりました。図書室では、制作したポップと本を棚に飾っており、その棚から本を借りる姿が見られました。



ポップ作り活動